

中野中新聞

★生徒の活躍★

☆小野市総合体育大会

サッカー 準優勝

柔道 個人男子 50 kg

55 kg

60 kg

66 kg

90 kg

90 kg

個人女子 48 kg

「1位のみ掲載しています」

バスケットボール男子 準優勝

バスケットボール女子 優勝

ソフトテニス男子 団体 優勝

個人 優勝 O/M

3位 T/I

3位 T/O

5位 S/K

ソフトテニス女子 団体 準優勝

個人 5位 3ペア

卓球男子 団体 優勝

個人 優勝

準優勝

3位

卓球女子 個人 優勝

3位

陸上競技 男女総合優勝

共通男子 800 m 1位

共通男子 1500 m 1位

共通男子 3000 m 1位

共通男子 110 m H 1位

共通男子 4 × 100 m R 1位

1年男子 100 m 1位

1年男子 1500 m 1位

2年男子 100 m 1位

低学年男子 4 × 100 m R 1位

共通女子 200 m 1位

共通女子 800 m 1位

共通女子 100 m H 1位

共通女子 4 × 100 m R 1位

砲丸投 1位

四種競技 1位

1年女子 800 m 1位

2年女子 100 m 1位

「1位のみ掲載しています」

◆主な学校行事◆

※変更の可能性がります。

期末テスト 6月29日～7月1日

1学期終業式 7月20日

東播総体 7月16日・17日

三者懇談 7月25日～29日

生徒家庭の日 7月30日～8月1日

学校閉庁 8月11日～15日

愛校作業 8月4日

2学期始業式 8月29日

体育祭 9月10日

小野市新人大会 9月23日・24日

(その他の行事は決定次第、メール、ホームページ等で随時お知らせいたします。)

7年生だより

春過ぎて 夏来にけらし 白妙の

衣干すて 心天の香具山 持統天皇

季節は春から夏に移り変わりました。4月にスタートした7年生1学期も残すところあと少しとなりました。今現在、学習活動や部活動に意欲的に取り組み、仲間とともに楽しく、充実した日々を過ごしていることと思います。

さてここで自分自身の『今』を見つめてみましょう。中学校に入学した4月に自分自身が想像していた理想の中学生の姿になることができているでしょうか。また学級活動の時間に、自分自身が立てた1学期の目標は達成できそうですか。

『今』を見つめて思うことや感じることは人によって違います。このままの調子で頑張れば良いと思う人、課題があると感じ、課題を克服しなければならぬと思う人、その思いは様々です。

大切なことは『今』どうするかです。自分自身の『今』を見つめ、思ったことや感じたことをぜひ行動に移しましょう。そして中学校生活のスタートであるこの7年生1学期の良き締めくくりをしましょう。

1学期の終業式は7月20日(水)です。終業式の日には7年生全員が「今学期は何事にもよく頑張れた」と思えるように、『今』を『考』しましょう。「考え」そして「行動」することが大切です。



8年生だより



ぶらっときすみので、そば打ち体験

5月30日から6月3日の間、小野市・三木市の飲食・製造・介護・教育・公共・農業などの事業所75箇所の協力を得てトライやる・ウィークを行いました。

5日間の活動の中で、指導ボランティアの方々から指導していただいたことや、自分たちの活動を通して学んだことを修了式や学級活動の時間に発表できました。トライやる・ウィークでの自分の新たな一面を発見できた自信にあふれる姿でした。特に多くの人が発言していたのは「挑戦することの大切さ」「責任感をもつこと」「任されたときのうれしさ」そして「事業所の方々や家族への感謝」の言葉でした。

また、一生懸命がんばったことで発見できた自分の弱さや課題も一人一人がもって帰ってきました。出発式の時に伝えましたが、「今できない」と「絶対できない」を間違わない。自分や仲間の挑戦や頑張りを支え合う。この言葉をもう一度8年生に伝えたいと思います。これからの学校生活の中でも「挑戦」「責任」「感謝」を大切に学校生活を過ごしていきたいように。

9年生だより

9年生は入学したときからコロナ禍の中での生活だったので、学年で力を合わせて大きな行事に取り組み経験が本当に少なかつたです。そんな中、5月30日からの3日間、長崎方面への修学旅行が無事行えたことをうれしく思っています。1日目のハウステンボスでは班で楽しそうに過ごし、2日目の平和集会では全員で平和学習に取り組み、『本当の平和とは何か』を考えることができました。3日目の太宰府天満宮では合格祈願に子ども達の思いを感じる事ができました。

つい先日、市内総体が終わりました。東播大会へ進めた部活動と残念ながら引退をした部活動とに分かれましたが、学校では次の進路の目標に向かって進んでいます。朝学が始まり、日々の生活で8時から各教科の単元別小テストを行っております。毎日、テスト前に新研究ノートで復習し、朝の小テストに挑んでいます。毎日コツコツと努力を積み重ね、進路実現に向け、実力アップをはかっています。また、ご家庭でも子ども達の頑張りを応援してください。



太宰府天満宮にて

小野市立小野中学校長

駒田 茂

○小野市総体を終えて

6月17日・18日・19日に小野市総体が開催されました。

9年生のみなさんが、相手にリードされていても、得点を奪いにいこうとする表情は、研ぎ澄まされていて、とてもかっこよく、ケガや脚の痙攣にも耐えながら走り続けるその姿は、とても輝いて見えました。

総体は、どうしても結果がクローズアップされがちですが、全員で一つのことに向かう姿勢や一体感が最も大切です。勝者が決まれば、そこには必ず敗者が生まれます。自分にできる最大限の準備をして臨んだ結果には胸を張りましょう。

9年生は、約2年間の部活動を通して、体力、技能以外の力、「精神力」がずいぶん向上したと思います。自身を取り組みに後悔がある人は、次のステージ、学習面や学校生活でリベンジして欲しいと思います。

東播大会に出場するチームや個人は、小野中だけでなく、小野市の代表として、敗れたチームや個人の思いも力に変え、胸を張って臨んで欲しいと願います。健闘を祈っています。



○SNSに潜む危険性！

インターネットやスマートフォンは、安全に正しく使うことができればとても役立つ便利なものです。しかしながら、事件や犯罪に巻き込まれるきっかけになったり、誹謗中傷やいじめの温床になってしまったりするなど、残念な事実もあります。また、子どもたちが被害を受けるだけではなく、加害者になってしまいうケースも生じています。

これからのデジタル社会を生き抜く子どもたちを被害者・加害者にならないためにも、インターネット、スマートフォンを始めとするデジタル機器、SNSなどのコミュニケーションツールを賢く活用する知識・知恵「ルール」を守って使える健全な心「安全に利用するための危機管理意識」を育むことが、とても大切になっています。

＜インターネットトラブル事例＞

※総務省「上手にネットと付き合おう」より

①悪ふざけなどの不適切な投稿
中学生3人が、学校の帰りに制服のまま線路に立ち入り、大はしゃぎで写真撮影。仲間に見せようと、SNSにアップしました。

↓警察に通報されて学校にも抗議が殺到、あっという間に投稿者、学校名まで特定される。鉄道営業法

違反等の罪で家庭裁判所に送致される。

②投稿から個人が特定されたことによる被害
おいしい情報をシェアするつもりがよく行くショッピングタウンでお気に入りのお店を見つけたAさん。親しい人たちに教えてあげようと、位置情報オフで撮影した写真を投稿しました。

↓知らない人に付きまとわれるようになった。その後、誰かに後をつけられていることに気づきました。引き金は、Aさんが投稿した写真の背景。場所がわかり生活範囲が特定されてしまいました。

③入力した個人情報目的外で利用
占いサービスで趣味嗜好を入力したらよく読む情報サイトにあった無料占いの広告が気になったBさん。名前・誕生日・趣味嗜好などを答え、結果の返信先としてメールアドレスを登録しました。

↓大量の広告メールが届くようになった。その後、Bさんのスマホには占い結果以外にも大量の広告メールが届くようになりました。その内容は、占いの時に入力した好みに合ったものばかりでした。

④パスワード不要の無料Wi-Fiの罠
Cくんは、近所にパスワードがなくても無料でWi-Fiに接続できる場所を発見。安定して使いやすかったので、ちよくちよくそこでネットを使っていました。

↓通信内容が盗みとられてしまった。でもそれは、他人の情報を盗む目的で設置されたWi-Fiでした。Cくんは通信内容をのぞかれ、大切な個人情報盗まれました。

⑤オンラインゲームをめぐるさまざまトラブル
アイテム購入は数回だけだったのにスマホのゲームに夢中のDくん。認証パスワードはお母さんが管理しているため、ポイントやアイテムが欲しいときは相談して解除してもらっていました。

↓請求書は10万円を超えていた。あつる月、十数万円の請求が来て大慌て。スマホの認証方法を確認すると、パスワード入力後30分間はパスワードの再入力不要の設定になっていました。

⑥心のよりどころだったSNS上の知人による誘い出し
辛いことが続き、SNSにつぶやいていたDさん。気持ちが悪く着くメッセージをくれる人に出会い、DMでやりとりするうちに、会いに行くことになりました。

↓そのまま連絡がつかなくなってしまう。出かけたとき家に帰ってこなくなり、家族が警察に相談。誰にも言わずに会いに行ったことは、DさんのSNSの記録を確認して初めてわかったのです。

⑦グループトークでの友人とのトラブル
Eさんは仲良しグループのトーク画面で、「○○さんの話って、いつも面白くない」と送った。メッセージの最後に「？」をつけ忘れのまま送信してしまったことに気づかず、すぐにお風呂に入ってしまった。



↓お風呂上りにスマホを見ると、「ひどい！」などのメッセージが。誤解を解こうとしても、反応なし。Eさん以外のメンバーは別グループを作り、Eさんを外したのです。

＜その他SNS＞

知っておきたいこと

・安易にリツイートや「いいね」をする
と拡散してしまう。
・相手を誹謗中傷したことで損害賠償を求められる事案が起きている。
・不適切な動画や画像投稿で、進学や就職の時にチェックされて不利になる。

・スマートフォンやパソコンは、端末の個人識別番号があり個人が特定される。
・本アカウント、裏アカウントなど、すべて個人が特定される。
・電話番号を教えるだけで SNS を通じて過去の書き込み、友人関係がわかる。
・SNS の写真は肖像権を放棄している。

・スマホカメラの性能は高く瞳に移った映像から犯人を特定できる。
・友達のカギをかけていなかったら友達を通じて見ることができてしまう。
以上のように、SNS になじみのある人は、自らが加害者になる投稿をしていないかどうか、また SNS になじみのない人でも、自分の家族がそうした犯罪の片棒を担ぐ投稿をしていないか、意識を高くして注意する必要があります。

安全と危険の境界線を理解し、家族を正しく導くためにも、スマホ技術の進歩に合わせて、自分の理解のアップデートも必要になります。

ぜひ、ご家族でスマホの使い方について話し合ってください。